

2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社ナガワ

東証一部：9663

2019年7月22日

目次

2019年度 第1四半期 (2019年4月1日～ 2019年6月30日) 業績の概況

TOPIX	2
連結 決算概要	3
セグメント別：連結売上高／営業利益	5
セグメント別：概況	8
連結 設備投資／減価償却費	11

参考資料

連結 貸借対照表	13
----------	----

2019年度 第1四半期

(2019年4月1日～ 2019年6月30日)

業績の概況

建設市場全般

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が継続し、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費も緩やかに持ち直しております。その一方中国経済の先行き、通商問題の動向、金融資本市場の変動など海外経済における影響や、10月に控えた消費増税の影響など、先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

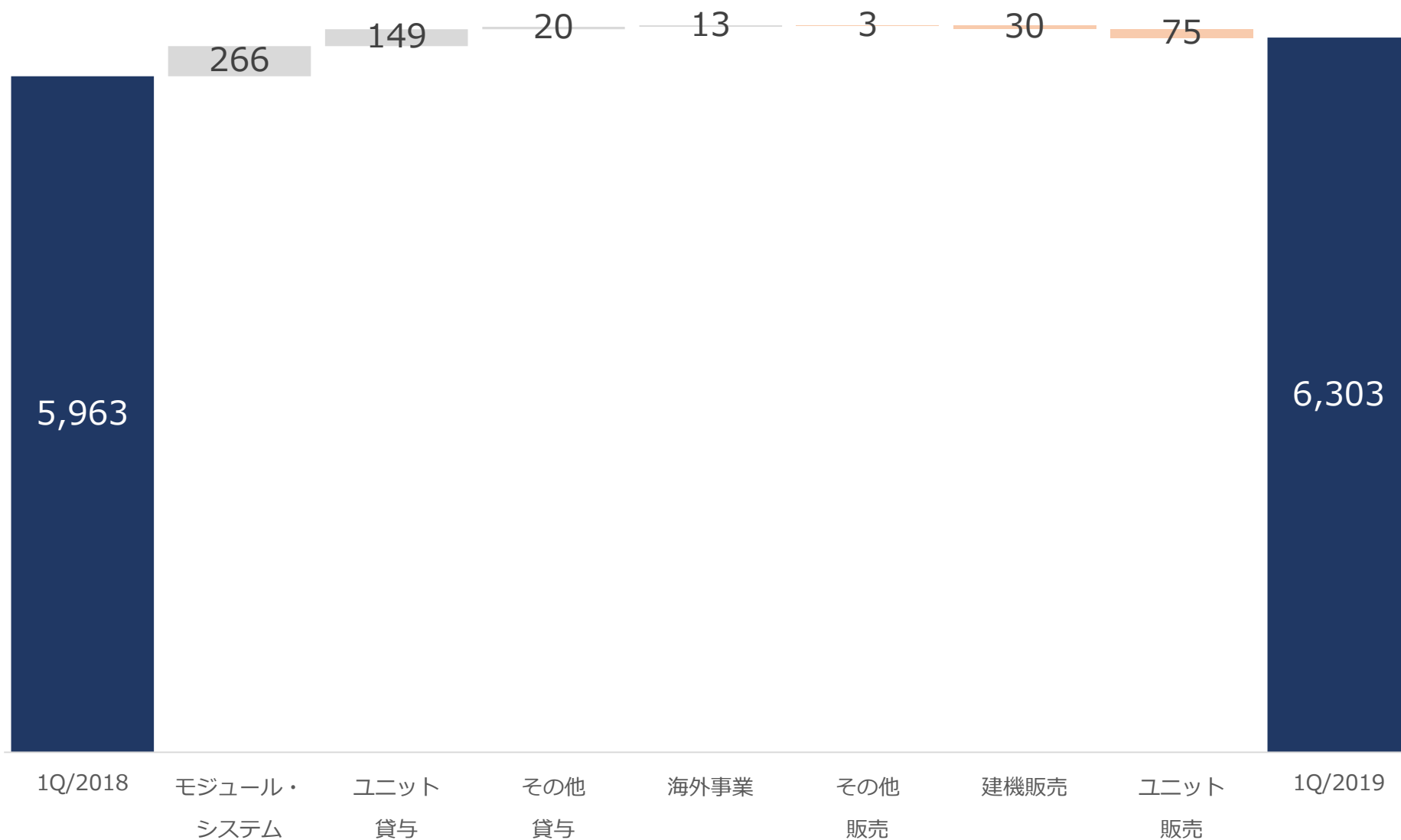
当社グループは堅調な民間設備投資やオリンピック関連事業による経済の需要喚起を背景に、モジュール・システム建築の技術・ノウハウを活用し、工場・倉庫・店舗等の受注を拡大していく一方、企業認知度の向上施策や教育制度の改革を実施し、組織の精鋭化を図りました。

主な取組み

- 1.モジュール・システム建築における全国上位地場ゼネコンとの請負体制の協業展開強化
- 2.海外事業における既存進出国の単年度黒字化と、欧米・東南アジア地域への次期出店国模索
- 3.教育制度改革での有資格者創出による、組織の精鋭化
- 4.物流体制の強化と、電子化による効率化推進
- 5.全国スマイルステーション（展示場）のサテライト出店加速

	1Q/2017	1Q/2018	1Q/2019	前期比	増減率	予算計画	計画比
売上高	5,713	5,963	6,303	340	5.71	6,400	▲ 97
営業利益	732	673	604	▲ 69	▲ 10.16	900	▲ 296
経常利益	780	717	702	▲ 15	▲ 2.04	943	▲ 241
親会社株主に帰属する四半期純利益	501	434	449	15	3.56	602	▲ 153
総資産	39,111	43,003	46,450	3,447	8.01	—	—
純資産	35,294	39,243	42,259	3,016	7.68	—	—
自己資本比率 (%)	90.2	91.3	91.0	▲ 0.3	—	—	—
1株当たり純資産	2,578.45	2,788.94	2,745.06	▲ 43.88	▲ 1.57	—	—

(単位：百万円)



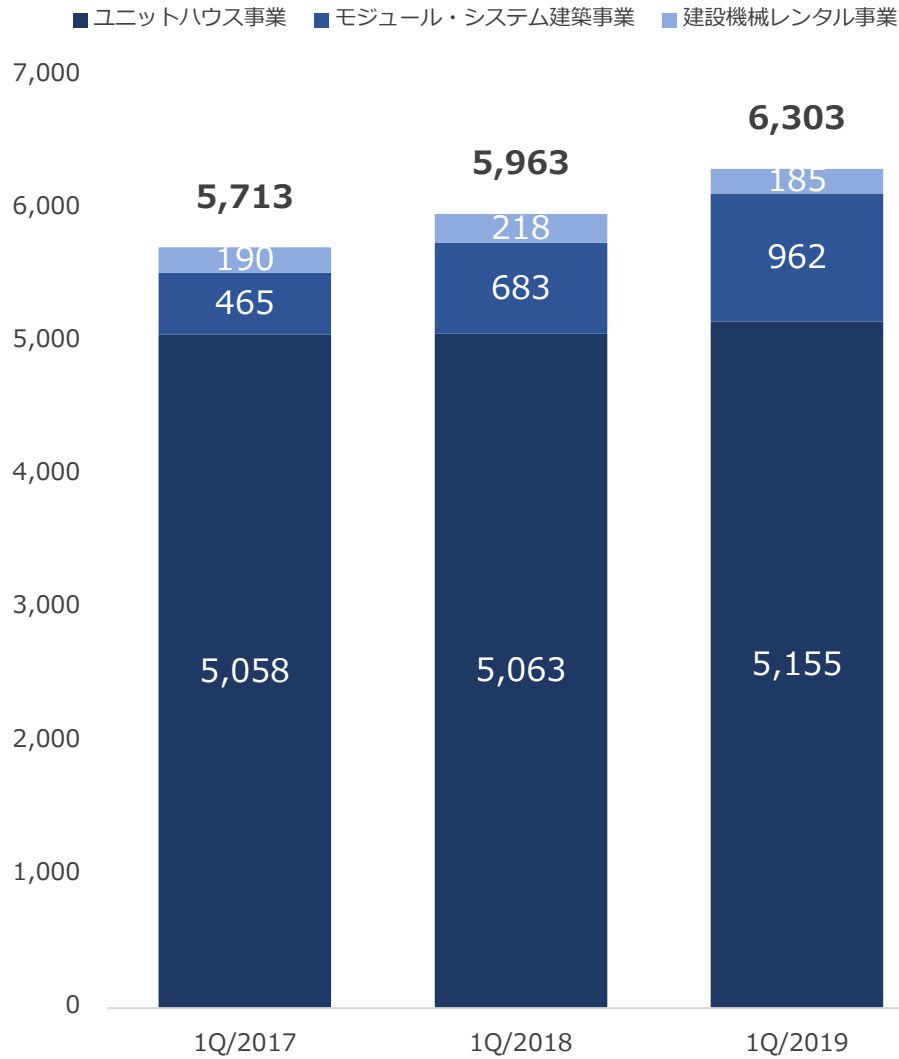
売上高	1Q/2017	1Q/2018	1Q/2019	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	5,058	5,063	5,155	92	1.82	5,135	20
モジュール・システム建築事業	465	683	962	279	40.93	390	572
建設機械レンタル事業	190	218	185	▲ 33	▲ 15.05	255	▲ 70
合計	5,713	5,963	6,303	340	5.69	6,400	▲ 97

(単位：百万円)

営業利益	1Q/2017	1Q/2018	1Q/2019	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	840	712	710	▲ 2	▲ 0.31	710	0
モジュール・システム建築事業	10	50	51	1	1.75	▲ 43	94
建設機械レンタル事業	▲ 7	▲ 3	▲ 31	▲ 28	1,046.46	▲ 6	▲ 25
全社又は消去	▲ 111	▲ 87	▲ 124	▲ 37	42.59	0	▲ 124
合計	732	673	604	▲ 69	▲ 10.21	900	▲ 296

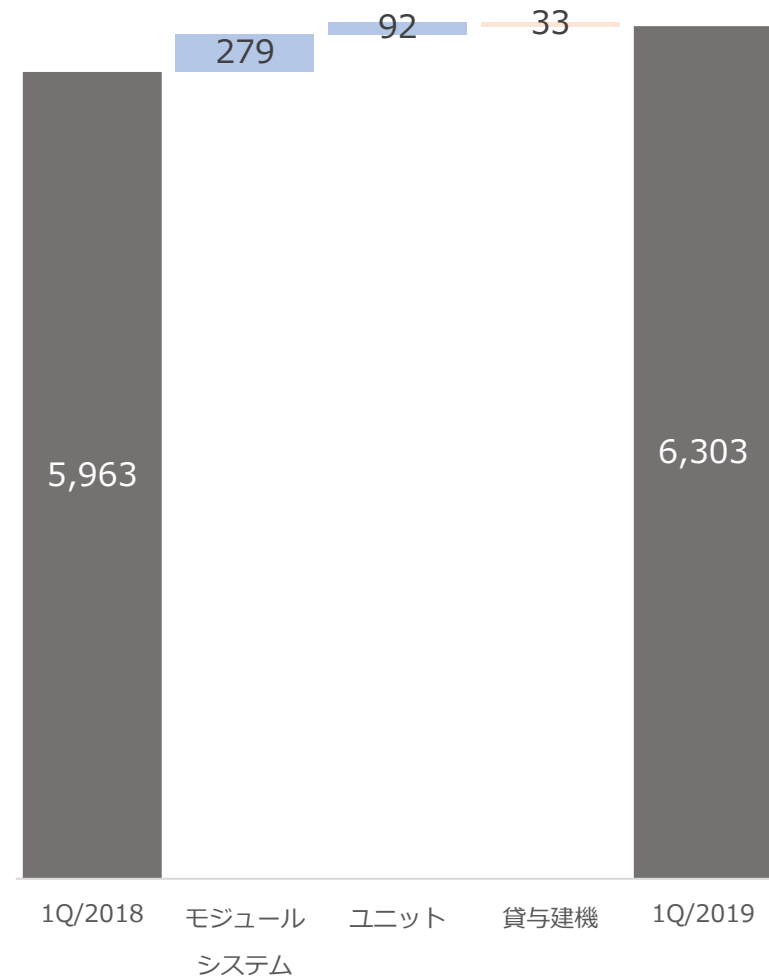
(単位：百万円)

セグメント別売上高推移

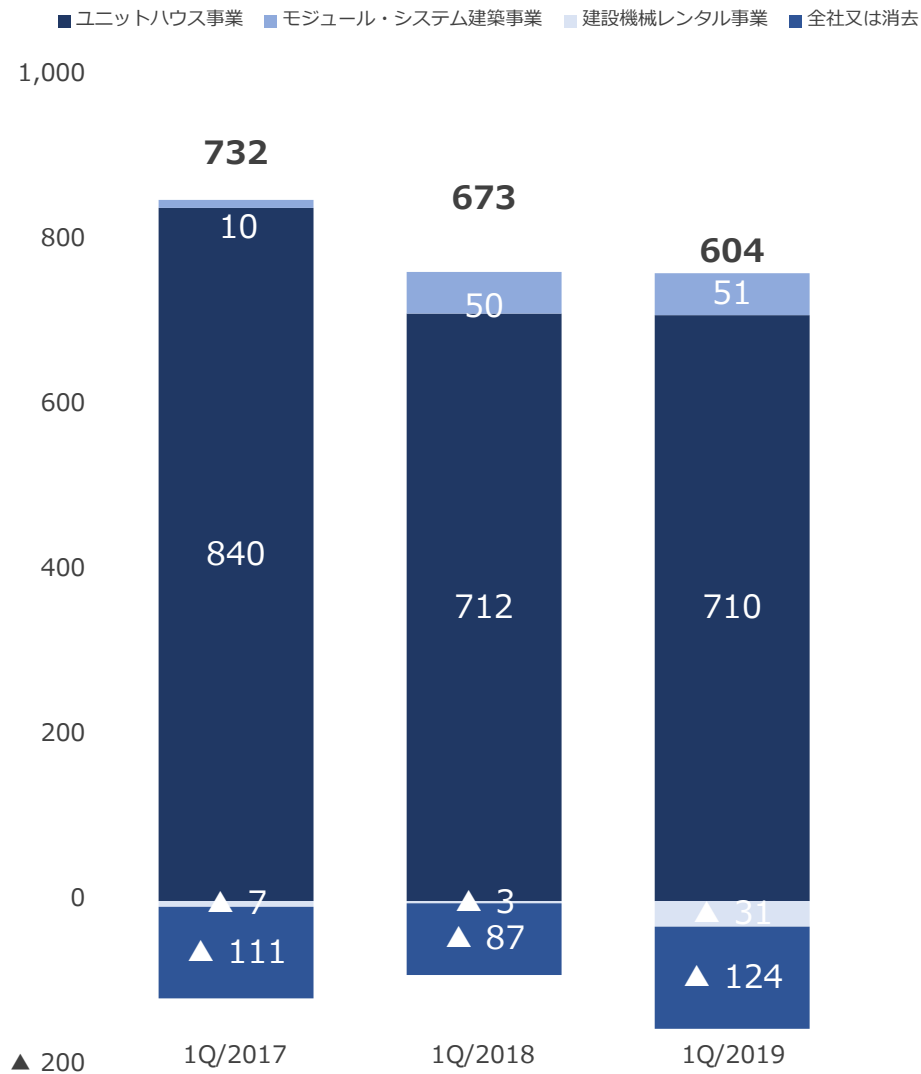


セグメント別売上高増減

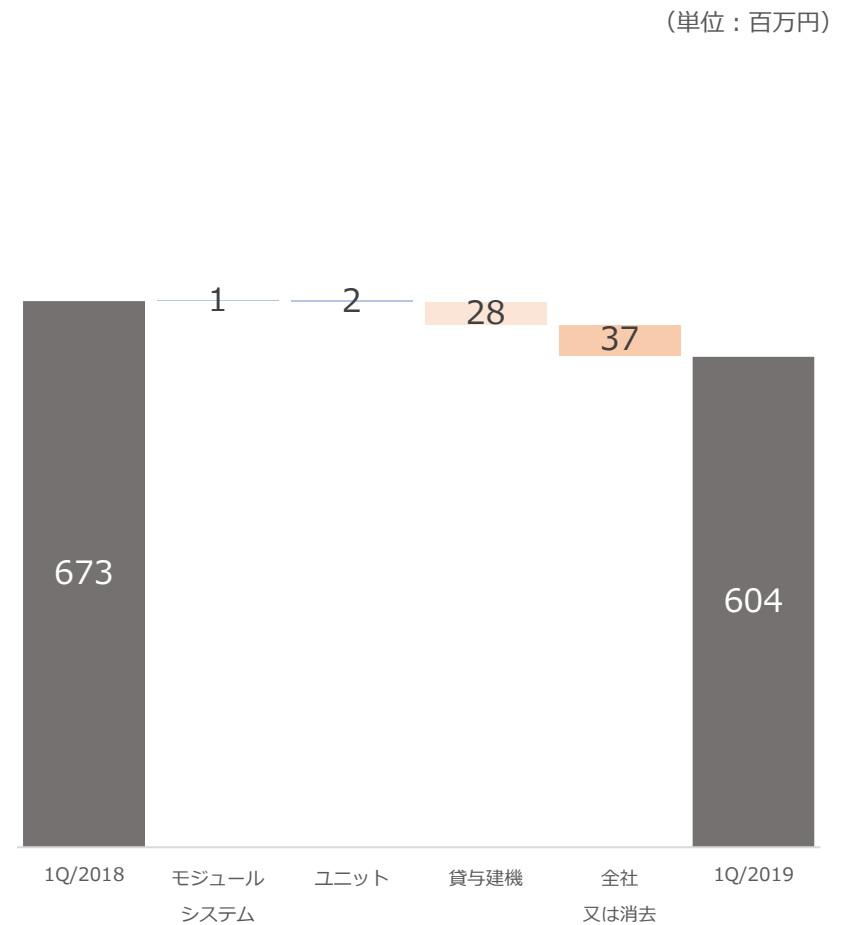
(単位：百万円)



セグメント別営業利益推移



セグメント別営業利益増減



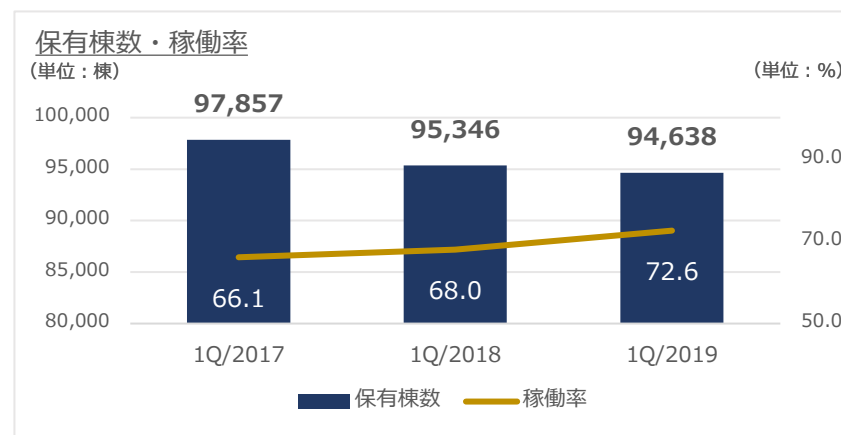
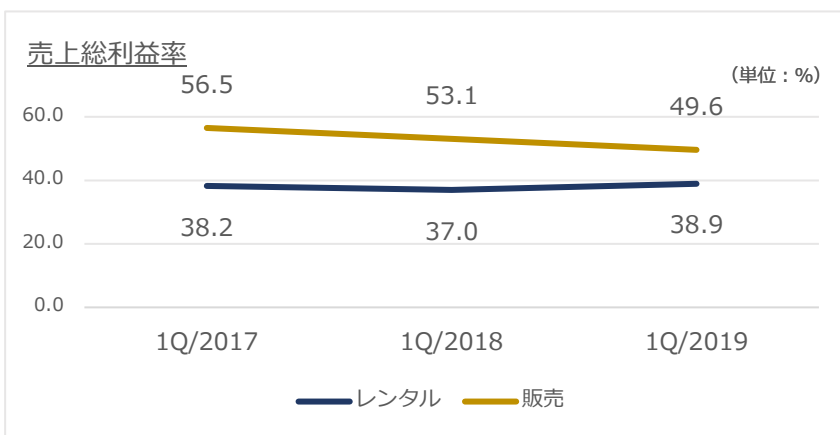
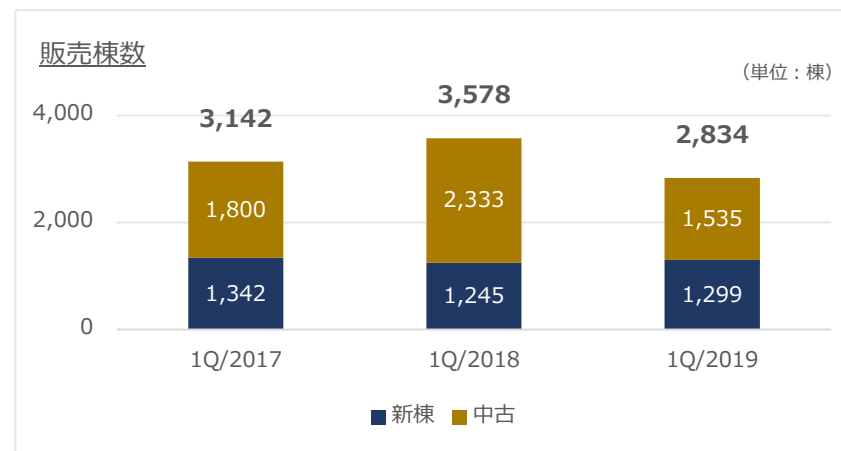
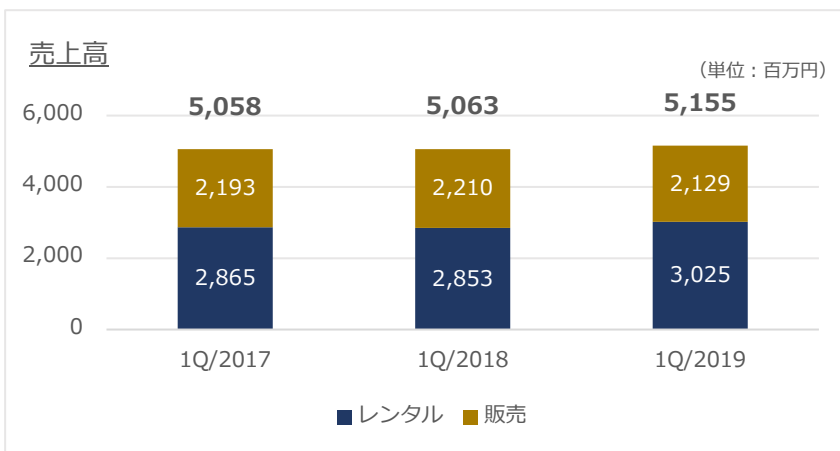
ユニットハウス事業

(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
5,155	92	20	710	▲ 2	0

売上高は前期比で増加となったものの、営業利益については中古販売減少の影響を受け減益となった。

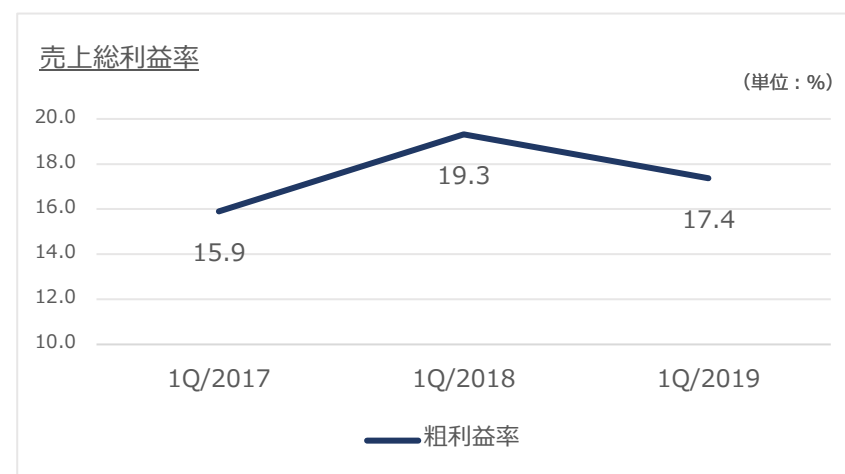
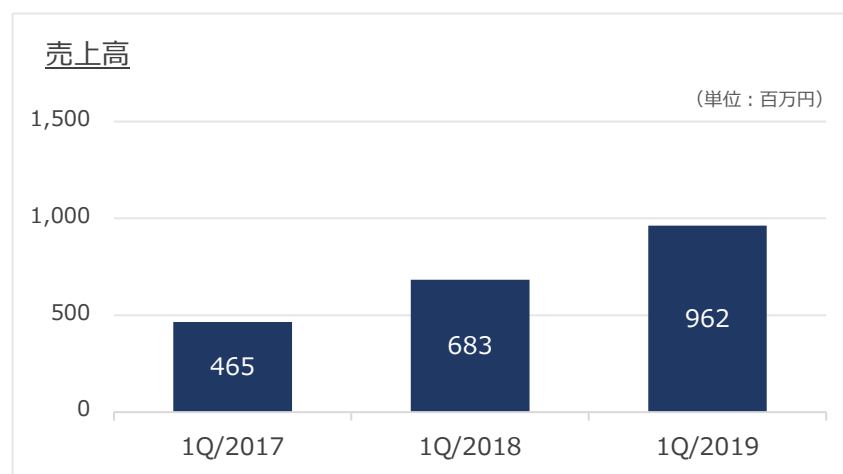
レンタルでは旺盛な需要に対応するため、工場の生産能力増強を行い、貸与資産の新規投入を実施。同時に物流体制の強化を図った結果、稼働率は前期比増となった。



モジュール・システム建築

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
962	279	572	51	1	94

消費税増税を控えた民間需要の好調を受け、規格建築の特性である短納期・低コストを武器に、事務所・倉庫・工場の受注を拡大。また、製品の標準化をより一層加速させ、規格の統一や専用CADシステムを導入することにより、品質の向上を図りました。

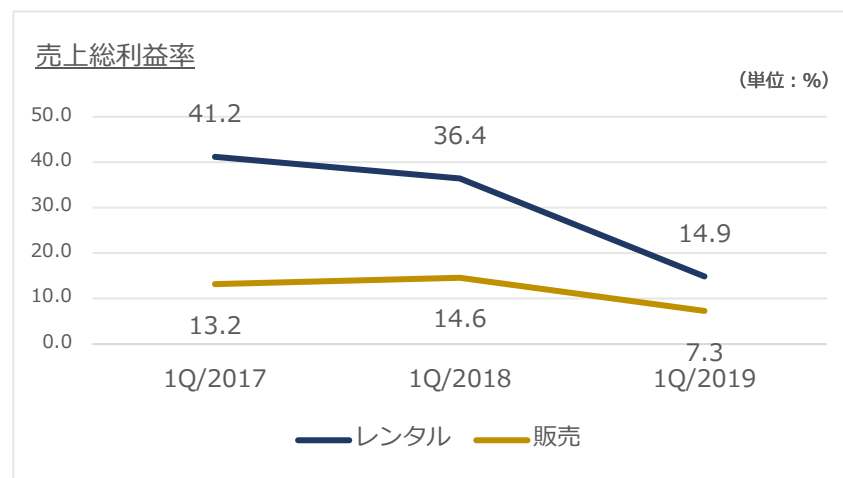
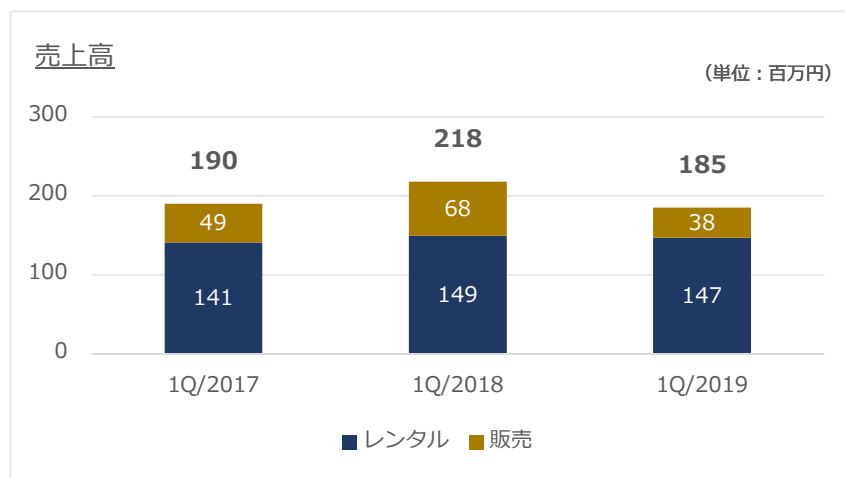


建設機械レンタル事業

前期までの災害復興予算による公共工事が減少し、レンタルは減収となった。

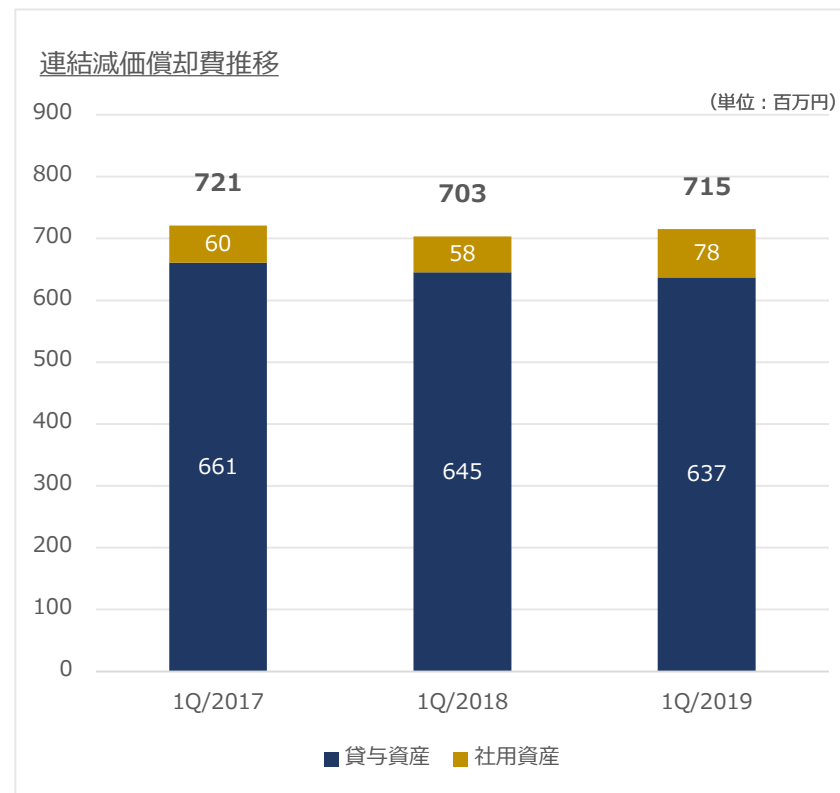
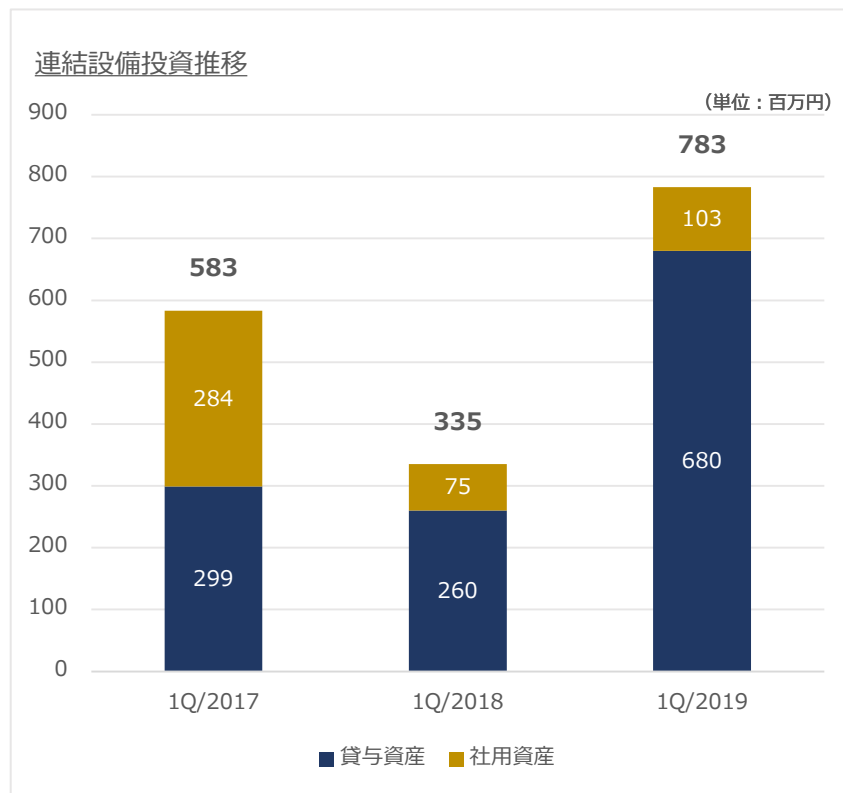
(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
185	▲ 33	▲ 70	▲ 31	▲ 28	▲ 25



設備投資/減価償却費

旺盛なレンタル需要に対応するため、工場の生産能力増強を行い貸与資産の新規投入を実施した結果、設備投資が大幅に増加。



参 考 资 料

連結 決算概要

	2017年度	2018年度	2019年度 1Q/2019
現金及び預金	13,651	15,719	14,493
受取手形及び売掛金	8,206	8,559	7,303
商品及び製品	1,332	1,455	1,754
その他	570	469	661
流動資産合計	23,759	26,203	24,213
貸与資産	8,326	7,590	7,630
建物及び構築物	1,727	1,703	1,683
土地	6,564	6,425	6,425
その他	193	160	196
有形固定資産合計	16,810	15,880	15,934
無形固定資産	82	116	121
投資その他の資産	3,295	4,750	6,180
固定資産合計	20,187	20,748	22,237
資産合計	43,946	46,951	46,450

	2017年度	2018年度	2019年度 1Q/2019
買掛金	1,980	2,044	1,999
その他	2,347	1,851	2,043
流動負債合計	4,327	3,895	4,042
固定負債	132	159	148
負債合計	4,459	4,055	4,191
資本金	2,855	2,855	2,855
利益剰余金	33,596	35,525	35,052
その他	2,992	4,644	4,644
株主資本合計	39,443	43,025	42,551
その他の包括利益累計額	17	▲ 149	▲ 304
純資産合計	39,487	42,896	42,259
負債純資産合計	43,946	46,951	42,259



NAGAWA

Social Creation Company

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。